



# 「子どもと環境」

家庭や地域での

実践事例を紹介します

一宮市の小学校では、環境学習の一環として、市の環境センター見学を行っています。毎年、各小学校の4年生が環境センターを訪れ、市のごみ処理の現状など、「環境」に関する学習を深めています。

毎回、見学に訪れる小学生から多くの質問が出され、環境に対する関心の高さが感じられます。

また、見学後には、見学のお礼とともに、自分の家庭で積極的に「ごみの分別を手伝ったり、買い物時には、レジ袋を断ったりするなど、身近な実践例の報告が環境センターに寄せられています。

そこで、このような子どもを中心とした家庭や地域の事務局まで。

域での身近な実践例を、この「環境かわら版」の紙面で紹介していきます。

私たちの環境を守るためには、小さなことでも継続して取り組むことが大切です。子どもを中心とした家庭や地域での小さな実践・取り組みが、私たちの未来・子どもたちの将来を守ります。

皆さんの家庭や地域での実践例をお知らせください。

## 知らせていただく要領

●資格 市内の子ども

●300字の文字原稿と写真1枚を添えて、事務局まで送って下さい。

●文字原稿は、手直しの場合があります。写真は返却しません。

送付・問い合わせは下記の事務局まで。

## 「我が家の環境大臣」

### 登録者募集

マイバックを使用していますか。

依然、家庭ごみに占める容器包装の割合は大きなものとなっています。

4月からは、改正容器包装リサイクル法により事業者は、レジ袋対策に努める必要があります。また、事務局まで申し込みを。



市民は、自分の買い物袋やふるしきを持参し、レジ袋や過剰包装を断るなどの取組が求められています。

現在、「我が家の環境大臣」には、市内で566世帯の登録があり、全国でも、「エコファミリー」の環

（わ）が広がっています。只今、新規の登録世帯にマイバックをプレゼントしています。ぜひ、下記の事務局まで申し込みを。

## 「いちのみやエコ・ウォーク」

### 登録者募集

一宮市環境基本計画推進協議会では、散歩などの時に、「ごみを拾いながらウォーキングする個人・団体の登録を募集し、平成19年3月1日現在で個人は10世帯で15人、団体は7団体で146人の方に登録していただきました。

この「いちのみやエコ・ウォーク」が市民の間に広がり、習慣化されれば、環境に目を向けてくれる人が増え、環境保全に対する意識・マナーの向上につながります。

そのため、今年度も昨年度に引き続き「いちのみやエコ・ウォーク」の登録者を募集します。詳しくは、下記の事務局まで。



## 「野焼き」を

していませんか！

洗濯物に臭

いがついて困

る、煙で窓

も開けられな

い、臭いや

煙で気分が悪くなる。

これらは、市民の方から環境保全課に寄せられた「野焼き」に関する相談の一部です。

基準にあつた焼却施設を用いずにごみを焼却する、いわゆる「野焼き」は、一部の例外を除き原則禁止されています。

家庭から出たごみは、正しく分別し、収集日に出してください。

詳しくは、「ごみの分別」については、環境センター

（☎45 7004）へ、「野焼き」については、環境保全課（☎45 7185）へお問い合わせください。

